

次世代電動航空機に関する技術開発事業

製造産業局
航空機武器宇宙産業課

令和5年度概算要求額 **25.0 億円** (22.3 億円)

事業の内容

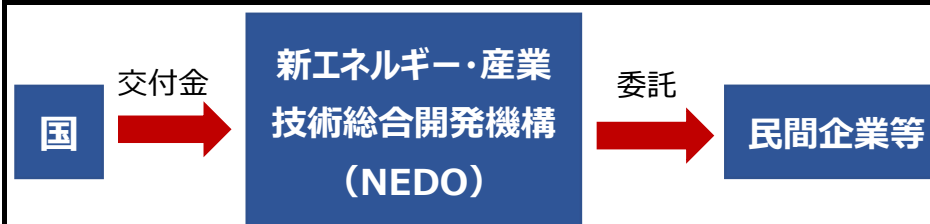
事業目的

航空機の要求に応える電動化のコア技術と、それらをインテグレートした新たな電動推進システム技術など、令和12年以降に市場投入予定の次世代航空機に必要な電動化技術を世界に先駆けて開発し、運輸部門のエネルギー使用合理化を推進します。

事業概要

空飛ぶクルマと呼ばれる小型航空機から大型旅客機まで、将来の航空機に向けた電動化が大きなトレンドとなり、世界的に競争が加速している。電動化に必要な高出力で軽量のモーターや蓄電池など、要素技術は日本に優位性があるところ、これらの強みを活用し、電気航空機市場を日本が席巻するべく、著しい軽量化と、高高度・低圧環境下での飛行を実現する電動化コア技術とそれらをインテグレーションする技術開発を行います。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



(図) 次世代電動航空機のコンセプトイメージ

成果目標

令和元年度から5年度までの5年間の事業であり、想定使用環境下での実用可能性があると判断されるTRL 6の達成を目指します。
令和7年度に海外OEMメーカーによる実証機に研究開発成果を2件搭載することを目指します。